

鮮やかで、穏やかで。

# 鹿王院

ROKUO-IN

限定公開

初の夜間特別拝観

平成28年

11月27日(日)~12月10日(土)

夜間拝観時間：17時30分~19時30分(受付終了19時)

事前  
お申し込み  
限定

1日100名様までの限定公開  
夜間特別拝観は事前のお申し込みが必要です

拝観をご希望の方は、お名前とご連絡先、拝観希望日と人数を記載の上、Eメール・FAX・ハガキのいずれかで拝観希望日の前日正午までに(ハガキは必着)お申し込みください。

夜間拝観料金

1500円

(拝観記念品付き)

お申し込み窓口

京福電気鉄道株式会社 事業推進部 鹿王院係  
Eメール：rokuoin@keifuku.co.jp  
FAX：(075)801-2530  
ハガキ：〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町18

特別拝観に関するお問い合わせ：京福電気鉄道株式会社 事業推進部

(075)801-2566 (平日9時~17時) <http://randen.keifuku.co.jp>

主催：鹿王院

協力：京福電気鉄道株式会社

後援：京都府 / 京都市 / 京都商工会議所 /

公益社団法人京都府観光連盟 / 公益社団法人京都市観光協会

# 鹿王院

悠然とした風格ある  
静寂閑雅な空間で、  
奥深い京都に出会う。

康暦二年（1380）、  
室町幕府三代将軍・足利義満が、  
天龍寺開山・夢窓疎石の後継者である禅僧  
春屋妙葩（普明国師）を開山とし、  
覚雄山宝幢禅寺（かくゆうざんほうどうぜんじ）を建立した。

宝幢禅寺は後に、京都十刹の第五位に昇進したが、  
応仁・文明の乱で焼失した。  
鹿王院は宝幢禅寺の開山塔として建立され、  
宝幢禅寺焼失後、唯一再建された、洛西屈指の名刹である。

宝幢禅寺の山門で、創建当時から残る鹿王院山門には、  
義満の筆「覚雄山」の扁額が掲げられ、中門へと続く長い参道は、  
色鮮やかな紅葉、竹林、青苔で彩られている。

同筆「鹿王院」の額が掲げられている客殿、  
創建当時から安置されている釈迦如来像、  
十大弟子像を祀る昭堂（開山堂及び本堂）、  
鎌倉将軍 源実朝が中国・宋から鎌倉・円覚寺に奉安した  
「仏牙舍利」の一部を安置する駄都殿（舍利殿）が、  
嵐山を借景とした日本最初の平庭式枯山水庭園を囲む。

悠然とした風格ある静寂閑雅な空間で、  
奥深い京都と出会う。



鹿王院へのアクセス：嵐電「鹿王院駅」より徒歩4分

阪急電鉄をご利用のお客様

阪急「嵐山駅」より徒歩18分。または嵐電「嵐山駅」より「鹿王院駅」下車。

駐車場はございません。公共交通機関でお越し下さい。

鹿王院周辺は道幅の狭い住宅地です。お越しの際は通行の車やお足元に十分ご注意ください。  
また、大声やごみの散乱などがないようご協力をお願いいたします。

嵐電

KEIHAN